

できていますか？親が教えるマナー^{テン}10

- 1 一日の始まりは「おはよう」から
- 2 食事の時は「いただきます」「ごちそうさま」
- 3 家の出入りは「行ってきます」「ただいま」
- 4 履き物をそろえる
- 5 約束事を守る
- 6 ものを大切に使う
- 7 お手伝いを一日ひとつ
- 8 悪いことをしたら「ごめんなさい」
- 9 感謝の一言「ありがとう」
- 10 一日の終わりは「おやすみなさい」



〈お子さまの入学にあたって〉

静岡県家庭の日



「家庭の日」ポスター



QRコード

毎月第3日曜日は、「**静岡県家庭の日**」です！

「静岡県家庭の日」は、家族のふれあい・コミュニケーションを深める日です。左のQRコードから「**家庭の日パスポート**」を携帯電話の画面に表示し、「家庭の日」に協賛施設で提示すると、**料金割引などのサービス**を受けることができます。



編集・発行 静岡県教育委員会社会教育課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054-221-3123 FAX.054-221-3362

メール kyoui_shakyo@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/>

R70 紙ヘリサイクル可 この印刷物は、42,000部作成し、1部あたりの印刷経費は4.2円です。

新小学1年生の保護者の方へ

親学ノート

— 子どもを育て、自分を育てる —



静岡県教育委員会社会教育課

—子どもを育て、自分を育てる—

「3つの芽」



「よいこと」を 教えましょう。

●子どもは、りっぱな社会の一員です。よいことを進んでできる、みんなに信頼されるお子さんにしましょう。

ごはんを いっしょに 食べましょう。

●家族そろって「早寝・早起き・朝ごはん」につとめましょう。

親子のコミュニ ケーションを とりましょう。

●子育ての基本は、お子さんとのコミュニケーションです。いろいろなくらしの場面で、いろいろな方法で、コミュニケーションをとりましょう。



「よいこと」を教えましょう。

1. 親の生き方を示しましょう

「お父さんの子育て手帳」 P50～53

Q1.なぜ？

親の考え方や生き方が、子どもの人生に大きな影響を与えるからです。

Q2.どのように示したらよいのでしょうか？

人間は、一人一人がすばらしい存在であることを、子どもに伝えましょう。良心に従い、よりよい社会のために努力する生き方を示しましょう。

・子どもは「親の言うことは聞かなくても親のすることはする」といわれています。

・「あなたは世界でたったひとりの、かけがえのない存在なんだ」という思いを伝えましょう。

2. がまんすることをしつけましょう

「お父さんの子育て手帳」 P78～81

Q1.なぜ？

がまんをすることが感情をコントロールする力や社会性を発達させます。

Q2.どのようにしつけたらよいのでしょうか？

家族がみんな、わがママを許さないことです。

・子どもが欲しい物を、いつでも何でも手に入るようにしてやることは、本当の愛情とはいえません。

・テレビ・ゲームなどにのめり込みすぎないように、時間を区切らせましょう。

3. 社会の礼儀やルールをしつけましょう

「お父さんの子育て手帳」 P86～102

Q1.なぜ？

礼儀やルールを守ることが、子どもを社会で生かします。

Q2.どのようにしつけたらよいのでしょうか？

大人が手本を示しながら教えていきましょう。

・子どものうちは、それほど必要ないと思いがちですが、小さなうちから習慣づけることが大切です。



ごはんをいっしょに食べましょう。

4. 基本的な生活習慣をしつけましょう

「お父さんの子育て手帳」 P70～77

Q1.なぜ？

正しい生活習慣が子どもの心身の健康を守り、社会性を育てます。

Q2.どのようにしつけたらよいのでしょうか？

子どもと共に規則正しい生活を送り、一緒に楽しく会話をしながら食事をしましょう。

小学校入学にあたって

「お父さんの子育て手帳」

P74～76

- ① 正しい食習慣を身につけさせる。
- ② 生活時間を規則正しくさせる。
- ③ 家庭学習を習慣づけるためにサポートする。
- ④ 身なりを整えさせる。
- ⑤ 物の整理整頓や後始末をさせる。



親子のコミュニケーションをとりましょう。

5. 子どもと遊び、自立を促しましょう

「お父さんの子育て手帳」 P62～67

Q1.なぜ？

子どもとの遊びが、子どもの自立を促します。

Q2.どのように遊んだらよいのでしょうか？

親子でふれあいと体験をしましょう。
親子で本に親しみましょう。

・遊びながら子どもの話を聞き、親子で言葉のコミュニケーションを深めましょう。

・読書習慣を身につけ、本に親しむことによって知識を蓄え、心を豊かにすることが大切です。

6. お手伝いをしつけましょう

「お父さんの子育て手帳」 P82～85

Q1.なぜ？

お手伝いをすることで人間関係が深まり、自分が役に立っているという気持ちが湧いてきます。

Q2.どのようにしつけたらよいのでしょうか？

家庭や地域で親子一緒に活動に取り組み、うまくできなくてもほめてあげましょう。

・家事のお手伝いは大切な体験の場であり、将来自立して生きる力につながります。

・地域に住む一員として、やらなくてはならないことを親子で話し合いながら、一緒に参加しましょう。